

# 視聴覚教育

NO.285

発行日

14.9.5

発行

岡崎市AVL

編集

現職教育委員会

学習情報部

## 新しい「情報教育の手引き」

岡崎市教育委員会指導主事 内田 義和

文部科学省は、新しい情報教育の手引き「情報教育の実践と学校の情報化」を六月に刊行し、ホームページ上からPDFで無料提供している。手引きは八章構成になっており、小中高等学校各段階における情報教育の考え方・あり方や、教科のねらいと情報教育の目標を達成するための学習活動の関連を記述している。

第一章では、IT革命とも呼ばれている急速な情報化の社会的な進展と、それに対応する学校における情報教育の更なる充実と教育環境の整備の必要性について言及している。

第二章は、初等中等教育における情報教育の概念・考え方や、体系的な情報教育の実施を明確にしている。そして、各教科等と情報活用能力との関係を述べ、情報手段の効果的な活用方法の例を示している。

第三章は、子どもたちの、情報活用能力を育

**視聴覚用語**  
『ドライバ』  
OSやアプリケーションに新たな機能を追加・拡張する際に、その橋渡しをするソフト。一般には、ハードウェアを追加したときに使う「デバイスドライバ」を指す。周辺機器やソフトウェアのインストールデスクに付属している。

むためのさまざまな学習活動の組み立て方や評価方法について説明している。そして、情報活用能力を育成させる学習活動の組み立てによって参考になる例を示している。

第四章は、学校の情報化に対応した、教員の情報リテラシーや指導力の向上の重要性を強調している。

第五章は、教育用コンピュータの整備計画を明示しながら、ソフトウェアの整備、校内LANを整備する上での留意点を述べている。

第六章は、ITを活用した「分かる授業」の実現のために、校長のリーダーシップの下、情報化推進リーダーを中心として、全教職員参加型の校内体制作りが不可欠なことを示している。

第七章は、特殊教育における情報教育の展開、



情報化に対応した特別支援教育のあり方について述べている。そして、障害の種類に応じた実践例を紹介している。

第八章は、高速回線利用の定義や、各学校と教育情報ナショナルセンター、教育委員会との連携・支援体制について記述している。

各学校では、本書を参考にして全教職員が情報化に対応した教育の必要性についての理解を深めていただきたい。そして、創意工夫を活かした特色ある情報教育を着実に実施していただくことを願っている。

《参考》ダウンロード用URL》

[http://www.next.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/index.htm](http://www.next.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/index.htm)

### 「視聴覚教育あれこれ」

#### 中学校放送コンテスト

##### 愛知県大会の結果

七月十三日(土)NHK名古屋放送局において、平成十四年度NHK全国中学校放送コンテスト愛知県大会が行われた。岡崎市内の中学校の結果は次のとおりである。



#### 〈ラジオ番組部門〉

・優秀賞 『親友って何?』

岡崎市立矢作中学校

#### 〈テレビ番組部門〉

・優良賞 『環境日本一の秘密』

岡崎市立福岡中学校

## 「実践報告」

### パソコンを使った思い出アルバム作り

岡崎市立男川小学校 太田里英

毎年、一年の終わりに学級の時間を利用して思い出アルバム作りを行っている。従来は、一年間の行事や授業風景、図工の作品などを写真に撮っておいて焼き増しを行い、子どもに配って手作りアルバムを作っていたのだが、なかなか大変な作業であった。そこで、昨年度はデジタルカメラを使って写真を撮り、データを共有化、パソコンを使ってアルバム作りを進めた。

子供たちは、お絵かきソフトを使って写真の上からコメントを入れたり、気に入ったイラストを入れたり、思い出にアルバム作りを進めることができた。集合写真なども、それぞれがパソコンに取り込んで自由に使えることができ、たくさん

のデータの中から自分に必要なものを取捨選択して、個性あふれるアルバムを完成させることができた。

作ったアルバムはカラー印刷し、ラミネート処理をして子供たちが持ち帰った。一年のよい思い出の記録とすることができた。



## 「レッツ・トライ」

### 「イントラバケッツ」を

#### 活用した学習のまとめ

「イントラバケッツ」は、「簡易エディター機能」「データベース機能」「メール機能」「共同編集機能」「簡易メッセージ送受信機能」「一括登録機能」などの機能がある。総合的な学習の時間だけでなく、各教科において活用できるソフトである。

この中の「簡易エディター機能」を活用すると、子供たちが調査活動をしたことを画像や絵を取り込んで分かりやすくまとめ、発表することができる。このエディター機能でページを作成するときに文字入力だけでなく、

絵を描く・写真を貼る・スタンプを貼る  
音声を貼り付ける  
添付ファイルを貼り付ける  
などの機能がある。

作成したページは自動的にA4サイズで印刷される。また、HTML形式で作成しているため、作成したページがブラウザで同じように見ることが出来る。このように、子供たちが、ノート感覚で簡単に使い見やすく分かりやすいページを作成することができる。学習が終わったらそれぞれのページをホームページにアップロードして発信することも簡単にできる。

このソフトは、小学校でパソコンの更新と併せ導入される。使い勝手のよいソフトであるので、ぜひ活用されたい。

(情報主任 南中 日置 正敏)

## ライブブライリーだより

### 自作視聴覚教材作品募集

市内の幼稚園・小中学校に勤務する先生方の自作した視聴覚教材を募集しています。

#### 〔募集部門〕

ビデオ教材

VHS・8ミリ・DV等

スライド教材

解説用録音テープを添付

マルチメディア教材

コンピュータを利用した教材

#### 〔規定〕

・ 応募規定については、県自作視聴覚教材コンクールに準ずる。

・ テーマは自由、教材として利用できる作品

・ 他コンクールに未発表であること。

・ 応募者の自作であること。

・ 著作権をクリアしていること。

詳細については、送付済みの愛知県自作視聴覚教材コンクール実施要項を参照してください。作品は、県・国の教材コンクールに応募の予定です。新しい発想によるユニークな作品を期待しています。

#### 〔応募先〕

すべての部門とも、十二月十日(火)までに岡崎市視聴覚ライブラリーへ応募してください。